



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長:

ホルガー・クナーク (ドイツ)

国際ロータリー 第2500地区 第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2020～21年度 第1275回 例会報告

例会日: 2021年04月1日(木) 時間: 7:30～8:30

例会場: 旭川アートホテル or ZOOM 例会

クラブ活動方針 『未来に紡ぐ』 クラブ会長: 木村 和哉 ・ 幹事 坂本

2500地区ガバナー

ランクアップをしよう

会長挨拶 木村和哉

おはようございます!

さて、本日より通常の例会の開催となります。よろしくお願ひ申し上げます。ただ、首都圏の緊急事態宣言が解除されてから各地で感染数の増加が懸念されております。中でも変異株が増加してきており、ゴールデンウィーク頃がどうなるかで旭川も油断できない状況になると思ひます。不測の事態に備えてZOOMも継続できるよう準備いたします。皆様のご準備も願ひいたします。

最期に、来週、最後の戦略立案会議があります。6月の予定でしたが、次年度以降の参考になると思ひまして前倒して行ひます。本日の次年度の方針も含めて皆さんと前向きな活動が出来たらと思ひております。

以上でございます。本日もよろしくお願ひ申し上げます。

会務報告 幹事 坂本信一

1、公益社団法人 米山梅吉記念館より、「館報37号並びに例祭中止のお知らせ」収受。

次年度活動方針

2021年～2022年度会長

井上 雄樹

1 例会について

2020年～2021年度は、コロナ禍により、活動が大きく制約されました。本日現在では、旭川市内の感染状況は落ち着いておりますが、首都圏や大阪では感染が再拡大しつつあり、また札幌でも変異株のクラスターが発生しているなど、いつ旭川に飛び火するかもわかりません。このような状況は、ワクチンが行き渡るまでは続くと思ひべきだろうと思ひます。しかし、肝心のワクチンも期待通りの数量が確保できていないよ

うで、高齢者への接種もいつ終わるのか見通せない状況です。

そうすると、次年度も本年度とほぼ同じような状況が続くと考えて活動をしなければならぬこととなります。海外に行くプロジェクトはもちろん、他クラブとの交流事業、夜間例会なども例年通りにはいかない可能性が高いです。

そのような中で、例会をどのようなものにすべきか考えると、やはり会員同士の親睦交流を深めることができるような例会を目指すべきではないかと思いました。先日、皆さんのお考えを聞く機会もありましたが、その中でもやはりロータリーにおいて親睦は重要であるという意見が多かったように思います。

具体的には、本年度に引き続き、会員の時間をできるだけ設けたいと思います。もちろん仕事の話でもいいですし、趣味の話でもいいと思います。例会が相互に分かり合えるための時間になればいいと思います。

2 会員増強について

会員増強は大きなテーマだと思います。R I 会長も地区ガバナーも毎年言っております。それでも会員減少は止まっています。掛け声だけでは会員は増えないのは明らかだと思います。R I や地区が会員増強を求めるのは、会員数が一番わかりやすい実績になるからだと思いますが、私はそんなことはどうでもいいと思います。

皆さんそれぞれの考えがあって、ロータリーに入会し、続けているのだと思います。ただ、私と同年代、あるいはそれよりも下の年代の人を入会させようと思ったら、わかりやすいメリットを提示できなければ入会しようと思わないでしょう。以前と比べればロータリークラブにステータスを感じる人はいないと思います。若い世代の人間ならばなおさらです。現時点で私に具体的なアイデアがあるわけではないのですが、旭川モーニングロータリークラブに入会するとこんないいことがあるよ、といえなければならぬと思います。エレベータートークという言葉があります。エレベーターに乗っている時間でプレゼンをできるようにしようということです。旭川には高いオフィスビルは

ありませんから、そんなエレベーターに乗る機会はありませんので、実際には会合の休憩時間での立ち話をイメージしたらいいのかもしれませんが。要するに30秒程度の短い時間でプレゼンできるかどうか、ということです。このくらいわかりやすいメリットが提示できなければ、若い人に興味を持ってもらうことは難しいと思います。

3 奉仕活動について

奉仕活動もコロナ禍により、大きく制約されることが予想されます。そんな中で何かできるか、何をすべきかを考えた時に、地域のことをまず、第一に考えるべきではないかと思います。コロナ禍で孤独を感じる人が増え、自殺者も増えています。モーニングロータリーが協賛をしてきた命の電話は自殺者を減らすための活動として意義がありますが、担い手は年々減っているようです。また、見えにくいものですが、子供の貧困も確実にあります。このような地元の問題にどのように取り組むか次年度だけで何かができるものではありませんが、制約も大きい中ですが、地域に目を向けた活動ができればと思います。

4 今後のロータリーを考える

木村会長のもとでは、5年後を考えるという機会を設けていただきました。そこで出た意見は私にとっても非常に参考になりました。もっとも、何か具体的なイメージができたかという点はまだそこまでは至っていないと思います。私の年度でも今後のロータリーを考えることは必要だろうと思っています。漆崎次年度ガバナーは各クラブに「戦略計画委員会」を作るように求めております。今後のロータリークラブのあり方を考えるというのはモーニングロータリーだけのことではなく、他のクラブにも共通することなのだろうと思います。

私自身は、入会して8年が経ちますが、ロータリークラブのことをわかっているかという点はおそらくわかっていません。皆様のご協力がなければ何もできませんが、1年間よろしくお願いいたします。

今月の誕生祝い記念品贈呈

安井裕子 会員（8日） 大久保昌宣 会員（12日）



* 旭川モーニングRC 出席報告 *

* 本日の出席 第 1277 回 例会 総員 22 名

4 月 1 日分 出席 15 名 出席率 68.18%

* 修正出席 第 1274 回 例会 総員 22 名

3 月 4 日分 出席 18 名 出席率 81.82%

ニコニコ BOX

コロナが少しずつ少なくなりロータリーのバイオリズムが戻りつつあります。毎週の例会が続きますように。

竹澤元男 会員

